

おかざき 議会だより

令和2年5月1日発行

vol.
202
2020

3月
定例会

おかざき未来“夢”プロジェクト 基本的人権と子どもラウンドテーブル
(人間環境大学)



- P02 代表質問
- P07 主な議案
- P08 委員会審査
- P10 討論
- P11 審議結果
- P12 6月定例会予定
- P13 おかざき未来“夢”プロジェクト
- P14 委員会調査報告
- P16 辞職勧告決議 他

(P13に表紙写真の関連記事あり)



更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



代表質問

3月定例会では、市政の課題や重要事項などについて会派の代表者による質問を行いました。
なお、本紙では、太字の質問項目について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議事録及び議会映像をご覧ください。

代表質問の掲載原稿は、議事録に基づき質問議員が作成しています。

自明清風会

- 令和2年度当初予算編成
- 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり
- 健やかに安心して暮らせるまちづくり**
- 自然と調和した環境にやさしいまちづくり
- 賑わいと活力あるまちづくり
- 快適で魅力あるまちづくり
- 未来を拓く人を育むまちづくり**
- 将来まで自律した状態が続く都市経営

民政クラブ

- 市長の政治姿勢
- 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり
- 健やかに安心して暮らせるまちづくり**
- 自然と調和した環境にやさしいまちづくり
- 賑わいと活力あるまちづくり
- 快適で魅力あるまちづくり
- 未来を拓く人を育むまちづくり**
- 将来まで自律した状態が続く都市経営

公明党

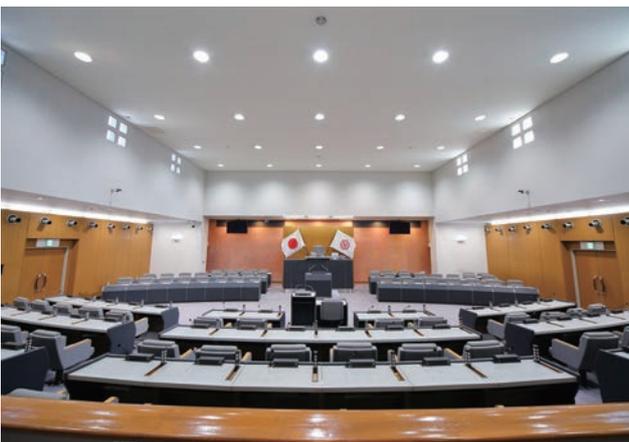
- 第6次総合計画後期基本計画
- SDGsへの対応
- 食品ロス削減

チャレンジ岡崎・無所属の会

- 歴史観光プロジェクト
- 安全安心プロジェクト
- こども育成プロジェクト**
- 都市再生プロジェクト
- 行政刷新プロジェクト
- 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり
- 健やかに安心して暮らせるまちづくり
- 自然と調和した環境にやさしいまちづくり
- 賑わいと活力あるまちづくり
- 快適で魅力あるまちづくり
- 未来を拓く人を育むまちづくり**
- 将来まで自律した状態が続く都市経営

創政会

- 都市間競争
- 鉄道網の充実
- 農業振興
- 大門河川緑地の整備
- 北部地域の複合拠点整備**



代表質問とは

- 会派を代表して行う質問のことです。
- 岡崎市議会では、予算の審議や条例案などが多い3月定例会で代表質問を採用しています。



自民清風会

内田 実

保育園の定員増 子どもの居場所の確保

問 国の幼児教育無償化に伴う
保育ニーズ増加への対応は。

また、保育園の民間移管など、公
共施設の公民連携に対する見解は。

答 未就学児童には、岡崎地区
での新設保育園の開園や私立
みなみ保育園の改築事業の支援に
より受け入れ定員の拡大を進める
他、幼保連携型こども園への移行
もサポートしていく。保育人材の
確保は最重要で、新卒保育士の積
極的な採用、潜在保育士の掘り起
こし、保育現場での働き方改革に
並行して取り組む。放課後児童へ
は、教育委員会との連携により、
学校施設の有効活用の検討などを
視野に入れ居場所の確保に努めて
いく。公民連携の考え方は、公立
保育園・こども園の民間移管を対
象とする施設の選定や実施方法な
どを精査し、可能性を探っていく。

1人1台のタブレット配備で 学び方改革

問 岡崎版「GIGAスクール
構想」の概要と特長は。また、
全小中学校の児童生徒にタブレッ
ト端末の配備を完了するのはいつ
か。

答 本市の子どもたちが、自ら
の特性を生かし、自己実現出
来るための資質・能力を育んでい
くことを目指す。その主な概要と
特長は、①令和2年度に、全67小
中学校の校内ネットワークを構築
し、ICT(※)環境の整備を完
了する②小学4年生以上に1人1
台タブレット端末を貸与し、中学
校卒業までフル活用出来るように
する③一斉型授業から学習者主体
の授業へと転換する学び方改革を
進める点である。マイタブレット
の配備は、3年度に小学4年生か
ら中学3年生まで1人1台の配備
を完了予定である。小学1年生か
ら小学3年生までは共用とはなる
が、4年度までに1人1台が使え
るよう配備する。

※通信技術を活用したコミュニケーション

楽しく歩きたくなる まちの実現

問 乙川リバーフロント地区整
備で新たに創出された良質な
公共空間で、市民の暮らしとエリ
アの価値向上を目指すQRUWA
A戦略の今後の展開は。

答 民間事業者との連携を深め、
事業が展開しやすい環境づく
りを進めるために、民間投資の推
進につながる優良建築物等整備事
業制度の導入について検討する。
また、乙川や中央緑道沿いの景観
形成を図るため、河川、道路、公園
等を景観重要公共施設に位置付け
ると共に、これら公共施設と一体
となった景観を形成するよう、建
築物等を規制誘導する。景観法等
諸法令を駆使することで建物1階
への店舗誘導や色彩などの形態・
意匠をコントロールし、統一感の
ある景観デザインを実現すること
で、暮らしの質とエリアの価値が
向上し、そこに暮らす市民が楽し
く、居心地が良く歩きたくなるま
ちの実現に向けて取り組んでいく。



民政クラブ

柴田 敏光

外国人児童生徒の就学

問 全国的にも日本語教育の担
い手不足は深刻な問題となっ
ている。本市は、日本語教育に携
わる職員の育成についてどのよう
に考えているか。

答 日本語教育に携わる教員に
対し年3回の研修を開催し、
日本語指導の基礎、授業作り、指
導方法などについて学び、担当す
る教員の指導力向上を図っている。
また、日本語能力測定法(DLAA)
の活用方法を学び、対象児童の日
本語能力に合わせた指導力を身に
付けている。更に外国人児童生徒
教育指導員による授業者や学校の
教員に対する指導、助言をしてい
る。今後もこうした研修を継続す
ると共に、担当者同士の情報共有
を進めることで、日本語教育に携
わる教員の育成、力量の向上を
図っていきたい。

兄弟姉妹の同園通園

問 兄弟姉妹の同園通園は、子どもを送迎する保護者の負担を軽減するものである。この同園通園に対する本市の考え方、また継続入所に関する対応は。

答 保育園に空きがある場合は兄弟姉妹そろって入所は可能だが、4月入所の希望者の申し込みが定員を超えた場合は選考を行い、保育の必要性が高い人から順に入所となる。選考に際しては送迎に掛かる保護者の負担等にも配慮し、在園児の兄弟姉妹がおり、同一の保育所の利用を希望する場合には加点を行うことで、申し込んだ保育園を優先的に利用できるよう一定の配慮を行っている。2歳児クラス以下の児童の継続入所については、安全な保育を提供する上で即座に対応することは困難な状況である。当面は保育所の新設や保育士確保施策の継続的な実施によって、保育の供給体制の確保に努めていきたい。

住宅の耐震性

問 本市の耐震診断、耐震補強の助成対象は、極めて弱いと推定される昭和56年5月31日以前の建物である。震災で大きな被害が出るのは火災と家屋の倒壊であることから、弱いと推定されている昭和56年から平成12年の家屋へ助成対象を広げるべきと考えるが、本市の考えは。

答 住宅の耐震化率は令和2年度までに95%を目標としているが、平成27年度末時点では87.8%であり緊急的な耐震化促進が求められている。現在、昭和56年以前の旧耐震基準の建物の耐震化を優先しており、次年度改定を予定の建築物耐震促進計画の中で耐震化率の推移等を確認する。昭和56年から平成12年までの新耐震基準の建物でも現行の基準に適合しない場合もあることをHP等で周知し、市民からの補助制度化への要望等を考慮しながら新耐震基準の住宅に対する事業を検討する。



公明党
畑尻 宣長

畑尻 宣長

問 誰一人取り残さないSDGsの認知度向上

答 SDGs(※)は、地方創生に親和性のある取り組みとして、日本でも積極的に推進されている。本市におけるSDGsの認知度向上の取り組みは。

答 SDGsにおける17項目の目標は、環境分野、社会分野、経済分野に大別され、いずれの分野でも取り組みを進める場合も、他分野における課題を念頭に置きつつ、統合的な課題解決に取り組み、誰一人取り残さない持続可能な開発を目指すものとしている。

SDGsの理解を広げるべく、職員や市民に向けた啓発活動を実施していくことなどを検討している。例えば、民間企業等と連携して、カードやレゴブロックを使ったゲームを用いながら、SDGsの考え方や事例を分かりやすく学ぶなどの取り組みを検討している。

岡崎市国際交流協会の法人化への考え

問 日本人、外国人の両方に向けた多文化共生施策の推進は喫緊の課題である。岡崎市国際交流協会が独立した法人であれば、スタッフの人事異動も少なく今の良い流れが継承できると思うが、法人化に向けての見解は。

答 法人化することのメリットは、法的に位置付けられ、信頼性の確保、財務状況の明確化につながることや、協会採用の職員を有することで長期的にはノウハウの蓄積が出来る、職員の専門性や民間ならではの発想で外国人とのより豊かな交流が進められる可能性もある。デメリットは、法人移行時に、人材の確保や事務の引き継ぎなど、運営のノウハウの習得には一定の時間が必要なことである。

法人化に当たっては、拡大する国際課の事務事業への対応も踏まえ、継続性や効率性のバランスを取りながら、市や市民にとって良い方向性を検討していきたい。

※持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

就職氷河期世代への

支援強化

問 雇用環境が厳しい時期に就職活動をを行った、いわゆる就職氷河期世代への支援強化へ向け、

この世代の、民間で不本意に非正規で働いている人を職員として積極的に採用していくべきと考えますが、本市の職員採用についての考えは。

答 国が策定した就職氷河期世代支援に関する行動計画2019において、就職氷河期世代の意欲や能力を生かすと共に、組織の活性化を図る観点から、国家公務員や地方公務員の中途採用を促進するよう、地方自治体に対し正規雇用化への取り組みが要請されている。希望の就職をかなえることが出来ず厳しい時代を生き抜いてきた氷河期世代が、これまでの困難を乗り越えてきた様々な経験や能力を発揮し、本市職員として活躍することを期待し、来年度、この世代を対象とした試験、採用を行っていききたい。



チャレンジ岡崎・無所属の会

杉山 智騎

放課後児童クラブの

今後の方針

問 放課後児童の受け皿確保に向けた目標値の考え方と、達成に向けた取り組みの方針は。

答 放課後児童クラブの利用ニーズは急増しており、クラブ

の設置数としては目標を達したものの、待機児童の解消には至っていないため、更なる受け皿確保が必要となっている。このため、今後の受け皿確保に向けた目標値としては、令和元年度中に策定する2年度からの5年を期間とする次期子ども・子育て支援事業計画においても利用児童数を指標とし、年度ごとに必要事業量の見込みと確保の内容を人数で設定する。必要な量の確保に向けては、小学校施設の活用や、地域によっては民間事業者の参入の促進等により、5年間で645人分の事業量の拡大を図っていく。

慢性的な渋滞への

今後の対策

問 道路利用者のニーズに応えるための、渋滞緩和を目標とした道路整備の現状と今後は。

答 抜本的な渋滞緩和対策につながる道路整備としては、県

に対し、暫定2車線供用区間である矢作地区の都市計画道路名古屋岡崎線の早期4車線化を始め、複数の路線で整備要望を行っている。市においては、朝日町3丁目交差点から自然科学研究機構南側の交差点までの都市計画道路岡崎環状線や、矢作町から北野町までの矢作川右岸南北道路の整備などを引き続き進めていく。これらの整備が進むことで、市中心部への交通流入抑制や周遊環状機能の強化、矢作地域の南北交通の分散につながるものと考えている。引き続き地域の皆様の理解、協力を得ながら、道路利用者のニーズに応えるべく、国、県と連携し事業を進めていく。



子どもたちの理科教育への

今後の見解

問 理科教育の充実のための、プラネタリウムのある子ども科学館建設の見解は。

答 科学的な施設の建設は、岡崎の子どもたちの自然や科学

に対する関心や探求心を高める観点からも、将来実現したい施策の一つと考えている。地球や天体、生命の誕生について学ぶことができる科学的なシアターなど、近隣にはない科学的な施設の在り方について研究し、実際、教育長は4年前に市長と共に東京都三鷹市にある国立天文台の視察も行った。ただ、元年度は、教室のエアコンや日本語初期指導教室プレクラスの設置等に約50億円の予算をかけている。更に今後は、校舎の長寿命化を図るための大規模改修等の計画もある。従って、これらの事業にめどが付いたところで、あるテーマに特化した科学的な施設について検討していきたいと考えている。



創政会

蜂須賀 喜久好

**愛知環状鉄道複線化と
大門駅バリアフリー化**

問 平成29年1月24日、岡崎、豊田、瀬戸、春日井の沿線4

市の県議・市議により愛知環状鉄道沿線市議員連盟を設立した。大門駅の1日当たりの乗降客数は、30年度が約2800人、令和元年度の上半期では約3000人を超えるものと考えられる。大門駅の今後の取り組みについての考えは。

答 大門駅の1日当たりの平均乗降客数が3000人を超えた場合には、国の定めるバリアフリー化の対象駅となる。

本市では愛知環状鉄道の将来の複線化や駅のバリアフリー化を見据えて、当該事業に必要となる用地も先行して取得している状況で、引き続き大門駅の移設やバリアフリー化を踏まえた調査を進めながら、複線化の推進を図るよう取り組みを進める。

**新北部交流センター！
4年後設置へ**

問 北部地域交流センターは、平成17年に市内最初の地域交流センターとして整備されたが、

建物と敷地はJAあいち三河からの賃貸借であり、現在の岩津市民センターに隣接する旧北部給食センター跡地が新北部交流センターの優先候補地と考えるが、見解は。

答 岩津市民センター及び隣接する旧北部給食センター跡地を新北部交流センターの優先候補地に考えている。9月末までに実施する交差点改良方法を検討する

予備設計を踏まえ、施設整備の検討に入りたいと考えている。支所、地域交流センター、市民センターの三つの機能を併せ持った施設の整備は本市では初の取り組みとなり、計画から設計、建設工事で約4年を要すると考えている。市民の学びや交流、そして地域活動の促進につながる新たな地域拠点のモデルとなるよう検討を進めたいと考えている。

**おかざき農遊館を
道の駅化へ**

問 令和6年に岡崎阿知和スマートインターチェンジが開通

するといふ大きなインパクトのあるこの地域において、高速道路を降りてすぐに位置するおかざき農遊館を道の駅化して、農業支援センターゾーンは農業体験などが出来る観光要素のあるエリアとして再整備をし、本市の玄関口の一つにする絶好のタイミングであると考えられるが、見解は。

答 農業関連施設個別施設計画の策定に当たり、スマートインターチェンジや工業団地の建設など、周辺の環境が大きく変わる中、産直出荷者や地元住民、JAあいち三河、来店者等の意見を聴取し、また、観光産業に欠かせない三つの要素、おいしい食べ物・面白いお土産・地域独自のサービスを満たし、本市の農林産物と、観光産業都市岡崎にふさわしい農業支援センターゾーンの再整備の方向性を見いだしたいと考えている。

▶ 議会中継について

本会議の開会日、一般（代表）質問、閉会日の内容はケーブルテレビミクスで中継しています。また、インターネットでも本会議の全日程をライブ中継と、いつでも視聴可能な録画映像の配信をしています。インターネット映像は、スマートフォンやタブレットPCなどのスマートデバイスでも視聴可能です。

▶ 委員会映像の配信について

議案等の審査を行った常任委員会と特別委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。

▶ 会議録の公開について

会議録は市立図書館、各支所、市政情報コーナー（市役所西庁舎1階）などで閲覧できる他、市議会ホームページでも閲覧することができます。

・議会中継、委員会映像の配信、会議録の公開ともに、右のQRコードからご覧になれます。



主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、11・12ページに掲載しています。

条例議案

■職員定数条例の一部改正／保育体制の充実、上下水道局の組織体制強化等のため、職員の定数の適正化を図る。

■生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例の制定／

生産緑地法の一部改正に伴い、小規模でも防災、環境等多面的機能を有する農地等を保全するため、生産緑地地区の面積要件を300平方メートル以上（法定500平方メートル以上）に引き下げる。

■屋外広告物条例の一部改正／屋外広告物の安全管理の徹底を図るために安全点検を義務化すると共に、屋外広告物を活用したまちづくりを推進するために公共空間等における規制を見直す。

■空家等対策の推進に関する条例

の制定／空家等対策の推進に関する特別措置法では対応できない事案について、市が独自に対応できるようにするため、空き家対策の推進に関し必要な事項を定める。

令和元年度補正予算議案

一般会計補正予算では、約16億2228万円の増額、特別会計では約6億3906万円の減額、企業会計では約8億1153万円の減額となった。

■一般会計補正予算

○総務費／財政調整基金積立金、公共施設保全整備基金積立金、市税等過誤納金払戻金の増など約15億4907万円の増

○教育費／小学校教育ネットワーク整備委託料、タブレット型情報端末整備委託料の増など約17億4577万円の増

令和2年度当初予算議案

令和2年度当初予算は、「市民の生活を守り、さらなる賑わいを生み出す予算」と位置付け、市民が楽しく快適に暮らすことが出来

るまちとなるよう、防犯・防災、福祉、環境、コミュニティ、教育など市民生活を支える基本施策の充実を図りつつ、持続可能なまちづくり、にぎわいのあるまちづくりを推進する予算を計上した。

一般会計は1270億8000万円、特別会計は約657億5426万円、企業会計は約597億6534万円で、総額は約2525億9960万円となり、元年度当初予算に対して2・8%の減となった。

■高齢者見守り支援業務／認知症

高齢者等の不測の事態に備えるため、賠償責任保険料の支援を行う。

■交通政策推進業務／愛知環状鉄

道の利便性を高めるため、将来の複線化への対応に向けた課題整理等を行う。

■岡崎城跡整備業務／岡崎城跡に

ついて、岡崎城跡整備基本計画に基づき、歴史文化資産としての価値を高めるため、坂谷曲輪、大手門の発掘調査や菅生川端石垣整備工事等を行う。

■コンベンション施設整備業務／

QRUWA戦略の拠点施設として、太陽の城跡地を活用し、千人規模の会議や式典、レセプション等が開催できるコンベンション施設を建設すると共に、上質なおもてなしを提供できるホテルの誘致を行い、地域経済の活性化を目指す。また、乙川河川空間を活用し、市民や来街者の暮らし、生きがい、健康作り等に資する事業を、公民連携事業として一体的に進める。

会計別当初予算

(単位:百万円)

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	127,080	97.7%
特別会計	65,754	95.3%
企業会計	59,765	98.3%
計	252,599	97.2%

委員会審査

4常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

2年度一般会計予算

土木費

問 六ツ美中部学区でのデマンド型交通の実証運行について、検討状況は。

答 平成30年度に、地域の総代

や老人クラブの代表が中心となつて六ツ美中部学区エリアバス運営協議会が設立され、現在まで計8回の検討会を開催してきた。

現在は住民アンケートの結果を参考に検討を進めており、デマンド型乗り合いタクシーの導入に向けて最終的な運行案の作成を進めている。今後、地域に対して利用方法などの説明会を運営協議会と共に行う予定で、令和2年10月からの実証運行を目指している。

土木費

問 本宿駅周辺地域において、アウトレットを核としたまちづくりが進められているが、現在の進捗状況と2年度の事業内容は。

答 現在、アウトレット事業者

及び（仮称）本宿駅西土地区画整理事業の発起人会が中心となつて計画作りを進めている。新しい町の骨格となる道路については、既存の市道池金本宿線の幅員を約20mに拡幅し、接続する国道

1号や県道生平幸田線との交差点の改良も併せて行うことで、本宿駅周辺地域の幹線道路となるように計画を進めており、アウトレット事業者と調整を行いながら、公安委員会や道路管理者など、関係機関と協議を進めている。2年度の事業内容は、生活環境等影響調査を引き続き行い、市道池金本宿線と国道1号、県道生平幸田線との測量設計、下水道関連の設計委託、まちづくり協議会への支援を行う予定である。



福祉病院委員会

問 子ども医療費助成条例の一部改正による助成とした理由は。

答 少子化及び子育て支援対策

として、入院については、子ども医療費の助成対象を16歳から18歳まで拡大し、実施時期は、

周知期間を確保し、準備が整い次第開始出来る2年9月からとする。また、償還払い（※）による助成

とした理由は、受給者証交付後の転出、転居や健康保険が変更となった場合など、市民の手続きがかえつて増えてしまう可能性があることや、受給者証を誤って通院の際に提示し、医療機関の窓口で無料扱いとされてしまうことが想定されるためである。なお、入院の際には医療機関での窓口負担が上限額で停止する限度額適用認定証の取得を奨励し、窓口での一時的な負担を最小限に抑えられるよう運用する。

※利用者が医療機関に費用を全額支払い、申請して払い戻しを受ける方法

2年度病院事業会計予算

問 病院事業の収支改善のため、患者を増やすための新たな取り組みは。

答 取り組みの一つ目として、

地域の医療機関からの紹介患者の予約を円滑に行えるようにするため、2年5月をめどにインターネットによる予約システムを稼働させる。これにより従来のファクスや電話での予約受け付けであつた時と比べ、24時間365日

予約が可能となり、患者に渡す予約票も医療機関で即時に印刷可能となることから、患者の待ち時間が大幅に短縮される。また、二つ目として、市民病院の診療機能などを市民や医療関係者などに広く周知し、受診を促すことを目的に、市民や医療機関などに向け別々に発行していた広報紙を一元化し、内容の充実を図ると共に、パソコンやスマートフォンで閲覧出来る情報発信専用のホームページの作成や情報発信専用端末・デジタルサイネージの設置などを実施する予定である。

文教生活委員会

2年度一般会計予算

総務費

女性就労支援の状況と、新

問 たな取り組みは。

答

女性就労支援の状況として、テレワークの推進では啓発や体験を主な内容として実施してきた。その結果、実際の就職に結び付く事例も生まれている。テレワーク関連では多くの応募や問い合わせがあることから、ニーズの大きさを実感している。他にも合同企業説明会やライフプランの実現を目指すための講座など、就労を希望する女性に向けた様々な支援を実施している。また、実施する全ての事業で託児も行い、子育て中の女性でも参加しやすい環境作りに努めている。新たな取り組みとしては、キャリア支援アドバイザーとして、女性が就労に関して抱える不安や悩みに対しアドバイザーを行う専門家を合同企業説明会などに派遣する予定である。

消防費

再構築する総合防災システム

の変更点は。

答

本システムは、雨量や河川水位、路上浸水計などの観測機器からの情報を集約するシステムで、災害対策を行う上で必要不可欠なシステムである。今回の再構築では、新たに避難情報発信支援機能を導入し、迅速に避難関連情報を発令することが可能となる他、被害情報管理システムの導入により、関係各課と災害情報を共有することで、無駄のない効率的な災害対応が可能となる。この他、避難管理システムや物資管理システムを導入し、発災後の被災住民の生活維持を図っていく。また、庁内関係課それぞれが設置管理をしている観測機器類を一元管理することで、効率的な維持管理を行うっていく。なお、更新後はクラウドシステムを活用することで、システムの耐災害性の向上も図っている。

経済建設委員会

空家等対策の推進に関する条例の

制定

本条例を制定した背景及び

趣旨は。

答

平成27年に空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、本市も空家等への対策に取り組んできたが、一部を使用している長屋等の空き住戸は特措法の対象外のため対応出来ないことや、空家等に危険が切迫した場合に、行政であっても所有者等の同意なく措置を行うことが出来ないといった問題が浮かび上がった。そこで条例の制定により、特措法の対象外の空き住戸について空家等と同様の方法で所有者等特定出来るようにし、不適切な管理で周辺に悪影響を及ぼす恐れがあるときは、所有者等に適切な管理を助言、指導出来るようにする。また、空家等に危険が切迫した場合は、所有者等に代わり、市が緊急措置等を行うことが出来るようにする。

2年度一般会計予算

労働費

中小企業・勤労者支援セン

ター費の施設整備工事請負費

の内容は。

答

本予算は、美合町の勤労文化センターの機能を羽根町の産業人材支援センターへ移転、統合し、令和3年4月から中小企業・勤労者支援センターとしてリニューアルするための準備経費として計上したもので、施設整備工事請負費は、本館棟、専門実習棟、多目的実習棟の改修費である。本館棟では、指定管理者等が使用する執務室等の整備を始め、1階、2階の教室の内装や設備等の改修を行う。専門実習棟では、生徒が休憩や食事を取ることが出来る談話室兼休憩室を新たに整備し、教育環境の改善を図っていく。多目的実習棟では、市内初となるドローン（屋内訓練場のネット設置工事等）を計画している。他にも、敷地内や道路上に設置している案内標識等を新しい施設名に変更する工事の予算も計上している。

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告等を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

2年度一般会計予算

自民清風会

「市内で初めて六ツ美中部学区でデマンド型乗り合いタクシー運行の実証実験を開始する。地域で協議会を結成し、主体となって議論を重ねてきたものであり、まずは最長3年の実証実験だが、運転免許の自主返納、高齢者の移動手段の確保等の課題を踏まえ、地元にとって利便性が高く、有意義なものになることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「本市が設置する防犯カメラは、2年度は450台を設置するもので、警察等と連携し、犯罪多発地域や通学路など効果的な場所へ設置することで、犯罪抑止のみならず

検挙につながる効果も期待する。また、今まで防犯カメラを設置した学区に対しては保守点検料を補助するなど、公平な扱いで評価する」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「3年前から提案していた認知症高齢者の賠償責任保険料を全額市費負担する制度を、事前登録及び保険加入が必要な人へ周知を行い、見守りネットワーク参加者の増加へつなげていかれたい」と意見を述べ、賛成した。

チャレンジ岡崎・無所属の会

「昨年度と比較して教育費は約29%、38億円増となり、岡崎版GIGAスクール構想、校内フリースクール設置など、子どもたちに対する積極的な投資を高く評価する」と意見を述べ、賛成した。

創政会

「愛知環状鉄道の利便性を高めるためには、複線化・高速化が必要である。将来的には、JR東海道線との相互乗り入れが可能となることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「コンベンション施設の建設に50億円、維持管理に毎年1億円の税金が投入される。赤字が当然の建物に税金を投入するのであれば、広く市民に是非を問うべきである」と意見を述べ、反対した。

無所属・大原昌幸

「公共施設の建設は、大規模修繕や解体などで将来多額の費用が掛かるため、慎重に進めるべきである。また、コンベンション施設は必要性が高いとは考えられない」と意見を述べ、反対した。

元年度・2年度一般会計補正予算

自民清風会

「新型コロナウイルス感染症対策として中小企業事業資金保証料補助金の融資制度と窓口体制は理解する。資金調達以外にも、雇用や経営相談など事業者からの相談に対応し、必要な支援を受けることが出来るよう関係機関と連携を密に取り、情報提供をされたい」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「マスクや消毒液などの購入補助金は、さかのぼって補助対象となるが、現在、対策物品の購入は難しい状況であり、必要な施設へは優先的に確保出来るよう国に強く要望されたい」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「小学校の臨時休校に伴う子どもの居場所作りのため、児童育成センター、民間児童クラブなどの1日開所に向けて人員確保や保護者対応など関係者総動員で対処したことは大いに評価する」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「学校の休校に当たり、雇用相談窓口、中小零細企業への無利子貸し付けなど市民の命と健康を守るために出来ることを実施されたい」と意見を述べ、賛成した。

無所属・大原昌幸

「必要な時に迅速に検査を行うことで、感染に気付かず他人と接触することを極力防止されたい」と意見を述べ、賛成した。

(○賛成、×反対)

審議結果 3月定例会		採決結果	会派別賛否				
			自 民 清 風 会	民 政 ク ラ ブ	公 明 党	チ ャ レ ン ジ 岡 崎 無 所 属 の 会	創 政 会
件名							
市長提出議案							
1	包括外部監査契約	可決	○	○	○	○	
2	財産の譲与（岡崎市福祉の村）		○	○	○	※	
3	財産の無償貸付け（岡崎市福祉の村）		○	○	○	※	
4	一般廃棄物処理施設の利用に係る事務の委託に関する規約の一部変更に関する協議		○	○	○	○	
5	市道路線の廃止		○	○	○	○	
6	市道路線の認定		○	○	○	○	
7	手数料条例の一部改正		○	○	○	○	
8	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定		○	○	○	○	
9	職員定数条例の一部改正		○	○	○	○	
10	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正		○	○	○	○	
11	印鑑登録条例の一部改正		○	○	○	○	
12	社会福祉センター条例の制定		○	○	○	○	
13	無料低額宿泊所の設備及び運営の基準に関する条例の制定		○	○	○	○	
14	福祉の村条例の全部改正		○	○	○	※	
15	国民健康保険条例の一部改正		○	○	○	○	
16	子ども医療費助成条例の一部改正		○	○	○	○	
17	救急医療拠点施設整備支援基金条例の廃止		○	○	○	○	
18	保健所の設置等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	
19	公衆浴場における衛生措置等の基準に関する条例及び旅館業の施設の衛生措置及び構造設備の基準等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	
20	動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正		○	○	○	○	
21	自然体験の森条例の一部改正		○	○	○	○	
22	こども自然遊びの森条例の一部改正		○	○	○	○	
23	ホテル学校条例の一部改正		○	○	○	○	
24	勤労文化センター条例の廃止		○	○	○	○	
25	産業人材支援センター条例の一部改正		○	○	○	○	
26	生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例の制定		○	○	○	○	
27	屋外広告物条例の一部改正		○	○	○	○	
28	西三河都市計画事業岡崎駅東土地区画整理事業施行規程及び西三河都市計画事業岡崎駅針崎若松土地区画整理事業施行規程の一部改正		○	○	○	○	
29	空家等対策の推進に関する条例の制定		○	○	○	○	
30	病院事業の設置等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	
31	病院事業の料金に関する条例の一部改正		○	○	○	○	
32	総合学習センター条例の一部改正		○	○	○	○	
33	令和元年度一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	
34	令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	
35	令和元年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	
36	令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	
37	令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	
38	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	
39	令和元年度介護保険特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	
40	令和元年度継続契約集合支払特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	
41	令和元年度額田北部診療所特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	
42	令和元年度こども発達医療センター特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	
43	令和元年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	
44	令和元年度宮崎財産区特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	
45	令和元年度形埜財産区特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	
46	令和元年度病院事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	

※会派内において2人賛成、2人反対

(○賛成、×反対)

採決結果	件名	会派別賛否				
		自民清風会	民政クラブ	公明党	チャレンジ岡崎 無所属の会	創政会
市長提出議案						
	47 令和元年度水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○
	48 令和元年度下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○
	49 令和2年度一般会計予算	○	○	○	○	○
	50 令和2年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計予算	○	○	○	○	○
	51 令和2年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○
	52 令和2年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○
	53 令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○
	54 令和2年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○
	55 令和2年度継続契約集合支払特別会計予算	○	○	○	○	○
	56 令和2年度額田北部診療所特別会計予算	○	○	○	○	○
	57 令和2年度子ども発達医療センター特別会計予算	○	○	○	○	○
	58 令和2年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計予算	○	○	○	○	○
	59 令和2年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○
	60 令和2年度宮崎財産区特別会計予算	○	○	○	○	○
	61 令和2年度形埜財産区特別会計予算	○	○	○	○	○
	62 令和2年度病院事業会計予算	○	○	○	○	○
	63 令和2年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○
	64 令和2年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○
	65 令和元年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○
	66 令和2年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○
議員提出議案						
	議1 三浦康宏議員に対する辞職勧告決議	○	○	○	○	○
	議2 基礎疾患保有者への新型コロナウイルス対応についての意見書の提出	○	○	○	○	○

6月定例会予定

6月定例会の
 請願・陳情提出締め切りは、**5月18日**です。

月	火	水	木	金	土	日
6/1 開会、市長提案説明、議案説明（一般質問）	2	3	4 一般質問	5 一般質問	6	7
8 一般質問	9 議案質疑、委員会付託※	10 議案検討	11	12 常任委員会	13	14
15 常任委員会	16	17	18	19 議会運営委員会	20	21
22	23 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会	24	25	26	27	28

6月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。
 変更する場合は、岡崎市議会HP（<https://www.city.okazaki.lg.jp/shigikai/index.html>）でお知らせいたします。

傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、しばらくの間、本会議及び委員会の傍聴はご遠慮ください。
 議会中継は、インターネット等でご視聴いただけます。詳しくは、P6をご覧ください。

おかざき未来“夢”プロジェクト 基本的人権と子どもラウンドテーブル

2月21日(金)に岡崎市議会・人間環境大学の共催で、議員と学生が本市における子どもの人権と未来について意見交換を行いました。

大学生との意見交換会は、平成30年10月の岡崎女子大学・岡崎女子短期大学、令和元年10月の愛知産業大学に続き3回目の開催です。

第1部

岡崎市議会から「基本的人権について、市域での取り組み」を報告しました。



第2部

人間環境大学教授の山田麻紗子氏から「みんなで学ぶ『子どもの人権』一ひとり一人が多様な社会を自主的に生きるために一」についての発表がありました。



第3部

意見交換会

人間環境大学助教の丸山宏樹氏によるコーディネートの下で、学生がグループリーダーとなって議員と活発な意見交換を行いました。



発表

意見交換会の結果をまとめ、各グループで話し合った内容について、学生の皆さんから発表を行いました。

学生の皆さんから頂いた貴重なご意見やアンケート結果については、今後の市政に反映出来るよう、市議会として政策提案等につなげていきたいと考えています。



特別委員会		
地域内交通検討		
1月14日	委員会の今後の取り組み	第3・4委員会室
1月31日	1 本市の地域内交通の取り組み 2 委員会の今後の取り組み	第3・4委員会室
MICE誘致検討		
1月27日	1 MICE誘致に取り組むための現状把握 2 委員会の今後の取り組み	第3・4委員会室
2月14日	委員会の今後の取り組み	第3・4委員会室

議会運営委員会		
2月17日	3月定例会の運営	議会大会議室
議会広報委員会		
12月20日	1 議会だより第201号の発行 2 意見交換会	第3・4委員会室
1月7日	1 議会だより第201号の発行 2 意見交換会	第3・4委員会室
1月14日	1 議会だより第201号の発行 2 意見交換会	第3・4委員会室

文教生活委員会

1月23日 安全安心なまちづくり【小野市】

調査内容

小野市夜間歩行者等の安全確保に関する条例で定められた、夜光反射材の着用等の普及啓発、夜光反射材の市民への提供など、夜間における交通安全対策の取り組みの調査。また、安全安心パトロール隊による防犯と交通安全対策の取り組みについて調査を行った。

委員長所感

交通事故の発生状況から夜間に高齢者の事故が多いことに着目し、先手管理を行う考えから条例を制定した。後方からの安全性を確保するための条例制定は、意識啓発をしていく上で行政の本気度がうかがえる。安全安心パトロールは、全員警察官OBが行うことで市民の安心感に大いにつながっている。特に警察署との連携はOBならではのあり、刑法犯認知件数及び人身事故の推移も減っている。本市でも模範となるパトロール隊を検討してはどうか。



その他の調査事項

- 1月24日 倉敷中央学校給食共同調理場【倉敷市】
- 2月14日 龍北総合運動場整備

経済建設委員会

1月23日 地域商社の取り組み【飛騨市】

調査内容

平成26年に飛騨市と民間事業者が共同で法人を設立し、平成27年に株主間協定を締結。同年に「(株)飛騨の森でクマは踊る」を設立した。同社が実施している森林事業（木製品加工販売）、交流事業（合宿滞在）、地域事業（カフェ運営）について調査を行った。

委員長所感

飛騨市は市域の92%を山林が占める。材木の価格低下が続き、林業の衰退に歯止めがかからない。(株)飛騨の森でクマは踊るはユニークな社名で、その活動も従来の延長ではなく、新たな発想が随所に取り入れられている。本市において何が事業化できるか、第三者の発想を大切にしながら、民間の行動力を導入する。こうした受け皿づくりを額田地域が望んでいるか、調査、議論をしたい。



その他の調査事項

- 1月22日 コンパクトなまちづくり(立地適正化計画)【富山市】
- 2月12日 街路空間の利活用の取り組み【静岡市】

委員会調査報告

(12月定例会終了後～2月)

現在、市議会では四つの常任委員会と二つの特別委員会、議会運営委員会、議会広報委員会を設置しています。

常任委員会は、定例会の開会中には付託議案の審査を行う他、閉会中も所管事項に関する調査、市内外への行政視察調査を行っています。今回は、各常任委員会の調査事項をお知らせします。

視察調査報告書の詳細は、市議会HPに掲載していますのでぜひご覧ください。

総務企画委員会

1月23日 中央消防署新庁舎 【松戸市】

調査内容

松戸市中央消防署新庁舎は、市南部地域の災害対応力強化を図るため、大規模災害時の活動拠点としてふさわしい規模、機能、設備等を備えた施設であることから、整備内容について調査を行った。

委員長所感

大規模災害時に長期対応可能な庁舎であり、消防職員の執務・訓練環境が良好である。また、地下や低層階では想定外の雨量時に浸水する可能性が高いことから、72時間対応の自家発電機2機を屋上に設置した点は取り入れるべきである。消防職員の働き方改革には多くの女性消防職員の活動が必要であり、職場環境が向上する職員のプライバシーに配慮した施設整備は重要で、移動動線に配慮した施設レイアウトには感心した。本市の消防本部建て替え時には参考にすべきである。



その他の調査事項

1月22日 AI・RPAの活用 【東京都港区】

福祉病院委員会

1月24日 待機児童対策 【戸田市】

調査内容

戸田市は平成28年4月に待機児童数が県内ワーストワンになったことから、3年間で1,200人分の保育受け入れ枠を緊急確保する待機児童緊急対策アクションプランを策定。その取り組み内容と成果、また、現在の保育士確保策や保育の質向上の取り組みについて調査を行った。

委員長所感

戸田市では、保育士の待遇改善のために潤沢な予算を投入すると共に、保育の質の向上のために「とだの保育創造プロジェクト会議」を設置し、実践指針を立案している。また、保育業務の不安解消のために、経験豊富な保育士が対応する「保育コンシェルジュ」による相談体制を構築している。これらの一体的な取り組みは本市においても大変有効であり、参考にすべきである。



その他の調査事項

1月23日 渋川医療センター 【渋川市】

2月12日 こども発達相談センター

三浦康宏議員に対する辞職勧告決議

三浦康宏議員は、市議会議員という公職にありながら、平成25年から28年にかけて元同僚女性議員に対し不適切な行為、発言を繰り返した上、その釈明のため岡崎市民及び岡崎市議会に対して事実と異なる説明を行ってきた。

そもそも元女性議員とは不適切な関係であり、そのことは裁判時に本人も認めている。このことは、市民全体の奉仕者として公正かつ清廉を基本姿勢とし、高い政治倫理意識に徹することを定めた岡崎市議会基本条例第8条に抵触するなどとして政治倫理委員会による辞職勧告、また本会議において2度辞職勧告決議を行った。

しかしながら、三浦議員は平成28年の選挙での当選で民意を得ていると主張し、辞職勧告措置、辞職勧告決議を全く意に介さず無視し続けている。民意を得ているというものの、そもそも市民に対し事実と異なる説明をしているわけであり、これは言語道断、市民への許しがたき裏切り行為である。また、三浦議員は市民への裏切りと合わせて、市議会への信頼、名誉を大きく失墜させたにもかかわらず、いまだ謝罪の言葉がない。また全く反省の色も見られない。

今般、これまで自身が強く否定していた元女性議員に対するセクハラ行為を認定した裁判の判決が、令和2年1月30日の最高裁判所の決定により確定したところである。自身がよりどころにしていたこれまでの発言が司法の場で否定された今、三浦議員には辞職する以外に選択肢はあり得ない。

よって岡崎市議会は、三浦議員に対して議員としての責任を果たすべく、みずからその責任を重く受けとめ速やかに市議会議員を辞職するよう、断固たる決意を持って改めて強く勧告するものである。

以上、決議する。

令和2年2月27日

※3月定例会開会日に、上記決議を全会一致で可決しました。

政府などへの意見書

議会の意思を表明するため、次の意見書を可決し、直ちに議長が関係機関へ提出して、その趣旨の実現が図られるよう要請しました。

●基礎疾患保有者への新型コロナウイルス対応についての意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

議会ダイヤル ☎

自 民 清 風 会	☎23-6390
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394
公 明 党	☎23-6396
チャレンジ岡崎・無所属の会	☎23-6364
創 政 会	☎23-6405
無 所 属	日 本 共 産 党 ☎23-6397
	無 所 属 ☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課(☎23-6971・FAX23-6538)までお問い合わせください。